

花のまちづくり 恵庭





恵庭市の概要

第5期恵庭市総合計画のキャッチフレーズ

花・水・緑 人がつながり 夢ふくらむまち えにわ

- 人口 70,348人(令和5年11月末現在)
- 面積 294.65km²(国有林45%・演習場23%)
- 交通 JR快速で札幌駅まで24分・新千歳空港まで13分
- 教育機関 大学1・専門学校2(約2,800人)
高校3・中学校5・小学校8(約7,600人)
- 姉妹都市 山口県 和木町[1979年(S54年)締結]
ニュージーランド ティマル市[2008年(H20年)締結]
- 友好都市 静岡県 藤枝市[2016年(H28年)締結]
- 陸上自衛隊駐屯地 3ヶ所(隊員定員3,360人)



市の鳥:カワセミ



市の花:すずらん



市の木:イチイ



恵庭市の歴史 & 花年表



明治 39年 (1906年)	恵庭村誕生
昭和 26年 (1951年)	恵庭町制施行
昭和 36年 (1961年)	恵庭市花いっぱい文化協会 設立
45年 (1970年)	市制施行 恵庭市誕生
54年 (1979年)	姉妹都市締結 山口県 和木町
55年 (1980年)	恵庭ニュータウン恵み野分譲
59年 (1984年)	恵庭市花苗生産組合 設立
平成 2年 (1990年)	市制施行20周年 第1回「恵庭・花とくらし展」開催
3年 (1991年)	ニュージーランドクライストチャーチ市視察 【花の生産者・市民・市職員等有志13名】
平成 10年 (1998年)	えにわ花のまちづくりプラン完成 恵庭花のまちづくり推進会議設立
平成 16年 (2004年)	恵み野花の街づくり団体連合会が都市景観大賞 「美しいまちなみ大賞」受賞 (国土交通省主催)



恵庭市の歴史 & 花年表



- 平成18年（2006年） 道と川の駅「花ロードえにわ」
えこりん村 オープン
- 20年（2008年） 花のまちづくりプランを改定
姉妹都市締結 ニュージーランド ティマル市
- 22年（2010年） 恵庭市が(社)日本観光協会第12回「花の
観光地づくり大賞」受賞
- 27年（2015年） 恵み野商店会が「緑の環境デザイン賞」国土
交通大臣賞を受賞
- 28年（2016年） 友好都市締結 静岡県 藤枝市
- 30年（2018年） 花のまちづくりプランを改定
- 令和元年（2019年） 恵庭市の人口が7万人に達する
- 2年（2020年） 花の拠点（はなふる）完成
恵庭市が「緑の都市賞」内閣総理大臣賞受賞
- 4年（2022年） 第39回全国都市緑化北海道フェア
(6/25～7/24) ガーデンフェスタ北海道2022開催
- 5年（2023年） 恵庭市花と緑の記念日制定（7月13日）

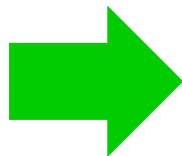


園芸なんかでメシがくえるか

～「花のまち」えにわは、定時制高校の温室から始まった～

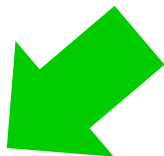
昭和36年

定時制課程農業科のある北海道恵庭南高校（現・恵庭北高等学校）に小さな温室ができ、花の実験栽培が行われる。



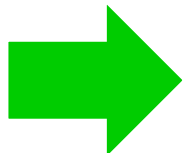
温室を見た農家の藤井さんが両親に反対されながらも「冬から春にかけて生産できる」花苗生産に魅力を感じ、札幌で花苗を売り歩く（藤井さんと石田さん）

*当時の恵庭の農家は米づくりが中心であり、冬には出稼ぎ労働をしていた



昭和40年

花壇苗の栽培を開始。「恵庭の苗は寒さに強い。花が長持ちする」と評判になり花苗の生産が拡大。



昭和59年

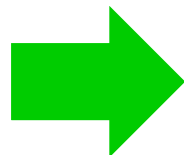
恵庭市花苗生産組合が設立され、恵庭は道内でも有数の花苗の生産地になった。

市民の取り組み 1

～花いっぱい運動～

昭和36年

花いっぱい文化協会が会員7名（秋田県雄物川会）で設立。「まちを花でいっぱいにしよう」



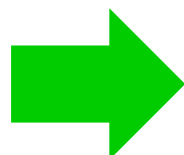
昭和37年

会員数74人、協賛会35会員に。全町にチラシを配ったり、協賛会寄贈花苗を3000株町内の花壇に無料配布。



活動推進するには花が足りないと考え、協会直営の花畑をつくる。育てた1万5000株は、自衛隊3駐屯地や市内小中学校へ配布。

瞬く間に花いっぱい運動が広がる！



昭和41年

会員127人、協賛会74会員に。グリーンベルトへの植樹、花壇コンクールなどが始まる。

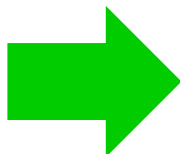
恵庭で花苗をつくり、恵庭市民が買い、 6
恵庭市民が育てる仕組みが出来る

市民の取り組み 2

～花のまちづくりの推進～

平成2年

市制施行20周年記念として、第1回「恵庭花とくらし展」開催。→ガーデニングで世界的に有名なクライストチャーチを紹介。



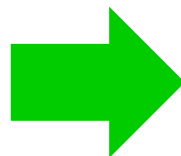
平成3年

市民、花苗生産者、行政有志で視察団を結成し、ニュージーランドのクライストチャーチを視察。



帰国後市内各所で報告会（約200回）を実施。それをきっかけに「恵み野花づくり愛好会」を設立。

ガーデニングコンテスト等を開催。



平成6年

雑誌等に取り上げられ、多くの観光客が街にやってくる。

結果...

花のまちづくりプランを作成し、花のまちづくりを推進する礎を作る。また、花に関する窓口を一本化するために花と緑の課（現花と緑・観光課）ができる！

花苗生産者の取り組み

恵庭市花苗生産組合

設立：昭和59年

会員：市内の花苗生産者3件（R5現在）で構成

事業：花苗等の生産（花苗及び野菜の苗）

花いっぱい文化協会幹旋花苗生産の他
イベント等を通じて植栽技術の向上や
情報提供を行っています。



恵庭市の花の生産

道内有数の花苗生産地

恵庭市花苗生産組合の生産鉢数は約300万鉢（R4現在）

平成20年（2008年）に開催された洞爺湖サミット会場では恵庭産の花苗が多数使用されました。また、札幌大通公園花壇（全体の約7割をシェア）にも使用されています。

その他 サッポロファクトリー、門別競馬場、藤野聖山園等で使用



花いっぱい文化協会の活動

設立：昭和36年（秋田県 雄物川町出身者7名）



S44 恵庭駅前植栽の様子

「雄物川（おものがわ）のような美しい環境にしたい」という思いが始まり


会員数：62団体（町内会・学校・任意団体・商店街等）

事業：花苗の斡旋（約9万株）・花壇コンクールの実施

1株80円～
約30種類

公共施設（学校・会館・公園・緑地等）への
花苗植栽、春と秋で花斡旋販売及び講習会の開催

公共花壇をもつ
団体が花苗購入
の際は、1割助
成（現物支給）

 facebookページでのPR 他

表彰歴：平成2年 北海道知事表彰・平成4年 建設大臣表彰

平成7年 緑化推進功労者として内閣総理大臣表彰

町
内
会
の
部



最優秀賞：福住1丁目町内会

令和5年度
花壇コンクール

学
校
の
部



最優秀賞：恵み野中学校

恵庭花のまちづくりプラン

恵庭花のまちづくり推進会議

平成10年11月にプランの推進を目的に設立

※プランの経緯

- ①平成10年3月策定
- ②平成20年3月改定
- ③平成30年3月改定→目標「花のまちづくりの拠点がある」

構成：花の関係者を始め教育・文化・経済団体等から
選出された22名前後のメンバーにより構成

事業：花とくらし展の開催
フラワーガーデニングコンテスト（～H21）の実施
恵庭花とも写真展（H23～）の開催
花のまちづくり講演会開催・花マップ作成協力
オープンガーデンツアー開催（めぐみの庭めぐり）等

その他：花のまちづくりに関する事項や事業内容の検討・検証等



花のまちづくり推進テーマ

「美しいまちで暮らそう」

恵庭・花とくらし展

- 開催経緯** 平成2年、市制施行20周年記念事業の一環として第1回開催。第33回はガーデンフェスタ北海道2022と同じ令和4年6月25日から7月24日まで花の拠点（はなふる）にてガーデンフェスタ北海道2022と同じ期間開催。令和5年は記念事業として9日間花の拠点（はなふる）で開催
- 事業内容**
- ・ オープンガーデンバスツアー
 - ・ 展示（プリザーブドフラワー、押し花、生け花写真・書道）
 - ・ ステージイベント



商店街や企業等の取組み

商店街・企業等は植樹帯や植樹柵等を活用し、花苗を植栽したり、花樽等のプランターを設置し環境美化に積極的に取り組んでいます。

又、全国「花のまちづくり」コンクール等で数々の賞を受賞しており、平成27年には、恵み野商店会が第26回「緑の環境デザイン賞」国土交通大臣賞を受賞しました。

主な商店会：恵庭駅通・島松駅前通・漁町商店会
恵み野商店会（花さんぽ・やすらぎストリート）等

企業庭園等：道と川の駅「花ロードえにわ」・「サッポロビール庭園」
えこりん村（銀河庭園）・サンガーデン 等



オープンガーデン

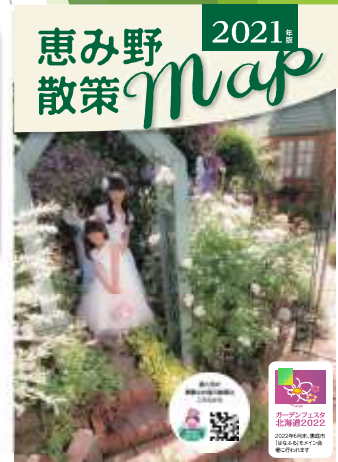
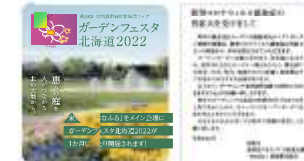
恵み野散策マップ（花マップ）

恵庭市オープンガーデン
ロゴマーク



恵庭観光協会が中心となって毎年発行しています。

配布場所は、「はなふる」センターハウス、道と川の駅「花ロードえにわ」、JR恵庭・島松・恵み野各駅、恵み野商店会の一部店舗等で配布しています。



オープンガーデンとは？

個人やお店などがご自分で手入れしているお庭を一定の期間公開することです。
訪問する方は庭主の方やご近所にも迷惑をかけないようにマナーを守って見学しましょう。

恵庭市民花ガイドについて

- 【設置年度】** 平成16年度 一般公募（平成17年6月7日認定）
- 【設置目的】** 当市を訪れる、花の見学者に対して花のまちをご案内するとともに、花のまちづくりを広く紹介することを目的として設置しています。
- 【活動内容】** 現在は視察（議会・団体等）で事前に申込みを受け活動しています。土日の対応も可能です。ただし、有料ツアー（旅行者）等には対応していません。
- 【受賞暦】** 平成29年度観光振興功労表彰（主催：北海道観光振興機構）
- 【登録者数】** 14名（活動可能者数12名・主な活動月／7～8月）
- 【報酬等】** ボランティア（商品券等1,000円／1回支給）
- 【活動実績】** H18～H26年度 182件（6,113人） H27年度 9件（312人） / H28年度 12件（293人）
/ H29年度 8件（236人） / H30年度 6件（117人） / R元年度 12件（163人）
/ コロナ禍につきR2・R3年度いずれも0件 / R4年度 3件



恵庭市公共施設花づくり基本指針(H29~)

目的 市民主体で形成された「花のまちえにわ」のイメージを、公共施設においても積極的に展開するため、基本方針・運営の指針を策定。



展開 継続的かつ全庁的に公共施設の花壇づくり等の推進、イベントの拡大、地域産業のとの連携、ガーデンツーリズムの推進を図る。



- ・ 公共施設における日常美化業務や観光的業務などの組み合わせによる、花のまちのイメージの定着化を図る。
- ・ 地域の自然や景観、地域資源や地域産業を活かしたガーデンツーリズムの推進を図る。



市民協働の花のまちづくり

市の職員と各町内会、商店会、老人クラブなどと協力し、毎年植栽を行っています。



令和5年度実績

場 所	植栽実施予定日時	植栽株数(約)	参加人数	参加団体
島松駅前ロータリー	5月17日(水) 10:00～	3,000	40	市職員、島松町内会連合会
恵庭駅前通	5月18日(木) 9:00～	1,300	60	市職員、駅通商店街、駅通協議会
恵み野駅東口	5月19日(金) 10:00～	1,800	25	市職員、恵み野東・西・南・北町内会、恵み野商店会
恵み野駅西口	5月25日(木) 9:00～	3,000	50	市職員、恵み野里美・恵央・柏陽西町内会、まちスポ恵み野
恵庭駅東口	6月 5日(月) 9:00～	3,300	40	市職員、黄金中央町内会、カリンバ会、文教ボラ部



花のまち並み推進事業助成要綱

住民が自主的に美しいまちづくりの推進を目的として、取り組む事業を行うに際し必要な経費を助成する制度です。

対象路線等は、景観形成に資すると認められる、道路や河川整備が実施・計画されている区域内で概ね200mを超える街区単位・橋梁相互の区間としており町内会組織を始め、道路や河川の愛護団体・商店街振興組合・商店会・学校その他、美観向上を活動目的に含む協議会等を対象としています。

助成額は対象経費の1/2以内とし単年度につき花苗・緑化木・プランター等購入に対し40万円を限度に助成しています。

令和4年度予算額 950千円

* 下記14団体から申請あり

- ・恵み野北町内会 ・文京町町内会 ・島松町内会連合会
- ・恵庭駅通まちづくり推進協議会 ・柏陽中学校
- ・恵み野やすらぎストリート ・恵み野小学校
- ・北柏木町内会 ・恵央町内会 ・黄金中島通花部会
- ・美しい恵み野花の街づくり推進協議会
- ・柏陽町西町内会 ・花さんぽ ・恵み野西町内会



花のまちづくり推進費の事業について

【令和4年度事業の紹介】

(補助金) 花とくらし展・まち並み推進事業

(花のまちづくり推進会議 外 まち並み推進14団体)

(委託料) 黄金フラワーロード・グリーンベルト管理

公共施設等花樽設置委託

恵み野駅東口ロータリー花装飾管理委託

3駅ロータリー花壇管理委託

3駅ロータリー花樽管理委託

恵庭駅東口・西口花装飾管理委託

駅ホーム花装飾管理委託

国道36号線花壇管理委託

恵庭岳公園線中央分離帯管理委託

(原材料) 花の土・緑化木購入等



花の拠点（はなふる）の誕生

【造成の経緯】

これまで恵庭の花観光は、オープンガーデンなど個人の努力に依存しており、花観光を行う公共的な場所がなく、花の拠点となる場所が求められていた。

平成28年11月に「花の拠点」基本計画を策定。

平成30年3月に「えにわ花のまちづくりプラン」を改定し、「花のまちづくりの拠点がある」が目標として明記され、造成に至った。

令和2年11月11日11時 都市公園 花の拠点（はなふる）がオープンしました。



はなふるガーデンエリアのコンセプト

【全体の実施設計】 高野ランドスケーププランニング株式会社

代表取締役・ 村田周一さん

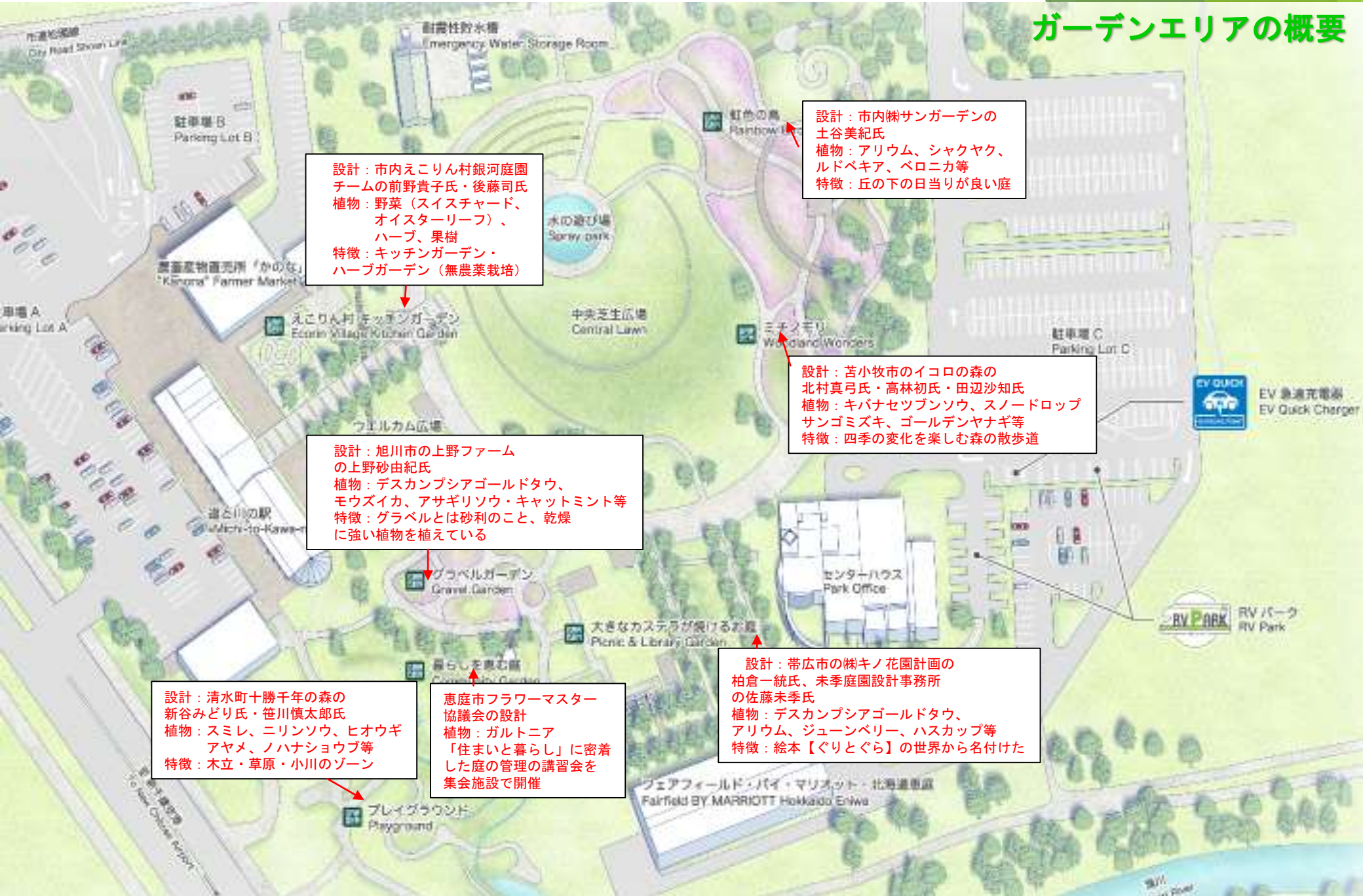
【はなふる全体のコンセプトについて】

- ① 市民にとっては、生活の中で利用しやすい公園として、リビング的なガーデン空間
 - ② 観光客にとっては、道内各地の花観光施設のガーデンが感じられる空間
 - ③ ガーデナーにとっては、北海道におけるガーデンを研究・追及し、展開していく場
- ・このようなコンセプトを実現するため、北海道のガーデンを代表するガーデナーやデザイナーによって7つの「北海道ガーデナーズガーデン」が作られた。風景の基本配置やレイアウトは村田さんのデザイン。
- ・公園の中心には、花の拠点（はなふる）としてイベント等でも人の集うことができる大きな芝生広場が設けられており、7つの庭を繋ぐ役割を担っている。
- ・各ガーデナーは、その環境に合う個性あるデザインに取り組んでいる。北海道に来たら**まず「はなふる」**へ来て、各地のガーデンを想像し、足を運んでもらいたいと考えている。

ガーデンエリアの概要

- ・ 区 分 都市公園
- ・ 面積 約6ヘクタール
※はなふる全体面積 約9.4ヘクタール
- ・ ガーデンエリアの植物 花の種類 約700種類
花の株数 約11万株
- ・ 特徴 7つのガーデン（設計者それぞれ異なる）





設計：市内えこりん村銀河庭園
チームの前野貴子氏・後藤司氏
植物：野菜（スイスチャード、
オイスターリーフ）、
ハーブ、果樹
特徴：キッチンガーデン・
ハーブガーデン（無農薬栽培）

設計：市内緑サンガーデンの
土谷美紀氏
植物：アリウム、シャクヤク、
ルドベキア、ペロニカ等
特徴：丘の下の日当たりが良い庭

設計：苫小牧市のイコロの森の
北村真弓氏・高林初氏・田辺沙知氏
植物：キバナセツブンソウ、スノードロップ
サンゴミズキ、ゴールドエンヤナギ等
特徴：四季の変化を楽しむ森の散歩道

設計：旭川市の上野ファーム
の上野砂由紀氏
植物：デスクンブシアゴールドタウ、
モウズイカ、アサギリソウ・キャットミント等
特徴：グラベルとは砂利のこと、乾燥
に強い植物を植えている

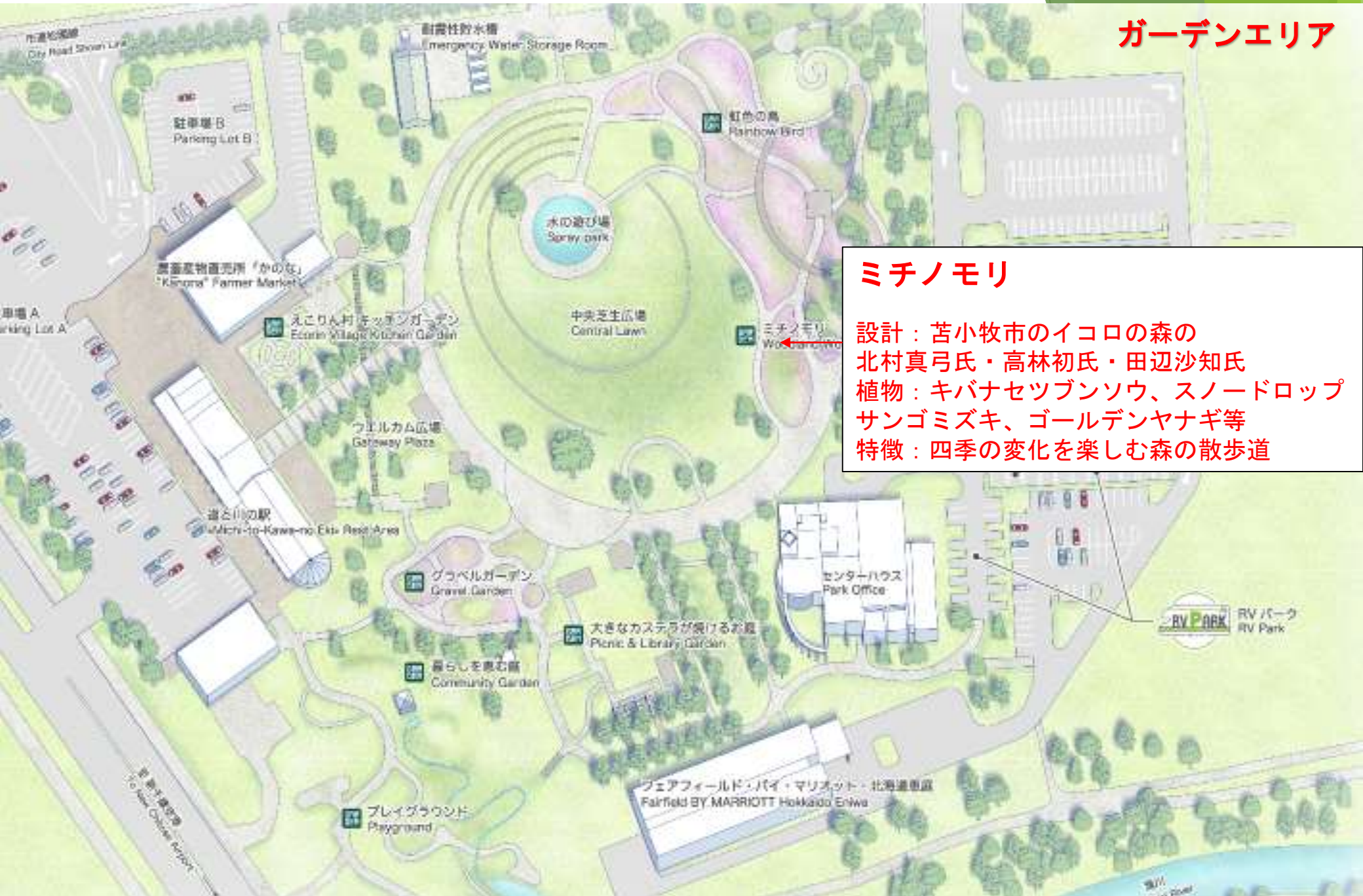
設計：清水町十勝千年の森の
新谷みどり氏・笹川慎太郎氏
植物：スマシレ、ニンソウ、ヒオウギ
アヤメ、ノハナショウブ等
特徴：木立・草原・小川のゾーン

恵庭市フラワーマスター
協議会の設計
植物：ガルトニア
「住まいと暮らし」に密着
した庭の管理の講習会を
集会施設で開催

設計：帯広市の榊ノ花園計画の
柏倉一統氏、未季庭園設計事務所
の佐藤未季氏
植物：デスクンブシアゴールドタウ、
アリウム、ジュンベリー、ハスカップ等
特徴：絵本【ぐりとぐら】の世界から名付けた

ミチノモリ





ミチノモリ

設計：苫小牧市のイコロの森の
北村真弓氏・高林初氏・田辺沙知氏
植物：キバナセツブンソウ、スノードロップ
サンゴミズキ、ゴールデンヤナギ等
特徴：四季の変化を楽しむ森の散歩道

スノードロップ(4月頃開花)



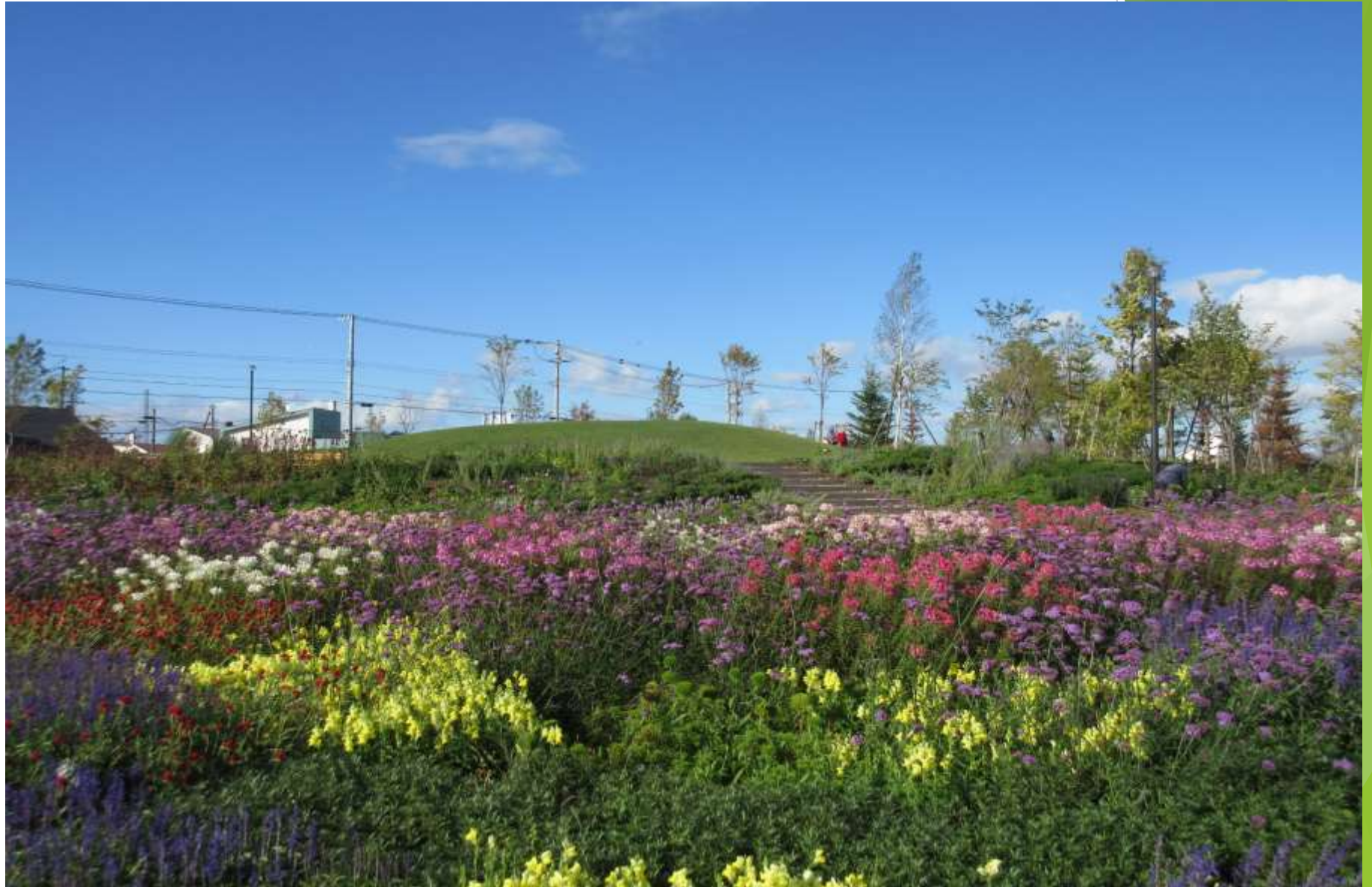
キバナセツブンソウ(4月頃開花)



サンゴミズキ(赤い幹)、ゴールデンヤナギ(黄色の幹) 左下が秋・右下が初冬の様子



虹色の鳥



虹色の鳥

設計：市内(株)サンガーデンの
土谷美紀氏
植物：アリウム、シャクヤク、
ルドベキア、ベロニカ等
特徴：丘の下の日当たりが良い庭



アリウム・ギガンチューム(6月に開花)



シャクヤク(6月に開花)



ルドベキア(夏から秋にかけて開花)



ベロニカ(夏から秋にかけて開花)



えこりん村キッチンガーデン



えこりん村キッチンガーデン

設計：市内えこりん村銀河庭園
チームの前野貴子氏・後藤司氏
植物：野菜（スイスチャード、
オイスターリーフ）、
ハーブ、果樹
特徴：キッチンガーデン・
ハーブガーデン（無農薬栽培）

ガーデンエリア



スイスチャード



オイスターリーフ(5月に開花)
(葉が牡蠣のような味)



グラベルガーデン





グラベルガーデン

設計：旭川市の上野ファーム
 の上野砂由紀氏

植物：デスカンプシアゴールドタウ、
 バーバスクム、アサギリソウ・
 キャットミント等

特徴：グラベルとは砂利のここと、乾燥
 に強い植物を植えている

グラベルガーデン
Gravel Garden

大きなカステラが咲けるお庭
Pine & Library Garden

暮らしを楽にする
Community Garden

プレイグラウンド
Playground

虹色の鳥
Rainbow Bird

ミチノモリ
Woodland Wonders

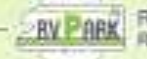
センターハウス
Park Office

フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道東區
Fairfield BY MARRIOTT Hokkaido Enwa

駐車場 C
Parking Lot C



EV 急速充電器
EV Quick Charger



RV パーク
RV Park

キャットミント(6月の開花)



アサギリソウ



バーバスカム(6月に開花)



デスカンプシアゴールドタウ:はなふるで一番多い植物、約5,500株)



(春と秋)



プレイグラウンド





プレイグラウンド

設計：清水町十勝千年の森
新谷みどり氏・笹川慎太郎氏
植物：スミレ、ニリンソウ、ヒオウギ
アヤメ、ノハナショウブ等
特徴：木立・草原・小川のゾーン

スマレ(4月に開花)



ニリンソウ(4月に開花)



ヒオウギ アヤメ(6月に開花)



ノハナショウブ(6月に開花)



暮らしを恵む庭





恵庭市フラワーマスター協議会の設計
 植物：いこいの花畑の植物、ガルトニア
 「住まいと暮らし」に密着した庭の管理の講習会を集会施設で開催

ガルトニア(7月~8月頃開花)



集会施設



キッチン講習会の様子(集会施設屋内)



ガーデニング講習会の実習の様子(集会施設屋外)



大きなカステラが焼けるお庭





大きなカステラが焼けるお庭

設計：帯広市の(株)キノ花園計画の柏倉一統氏、
 未季庭園設計事務所の佐藤未季氏
 植物：デスカンプシアゴールドタウ、アリウム、
 ジューンベリー、ハスカップ等
 特徴：絵本【ぐりとぐら】の世界から名付けた

ジュンベリー(5月に開花、6月頃赤い実がなる)



ハスカップ(7月頃実がなる)



大きなカステラが焼けるお庭

お庭の学校の様子(ライブラリーラウンジにて)

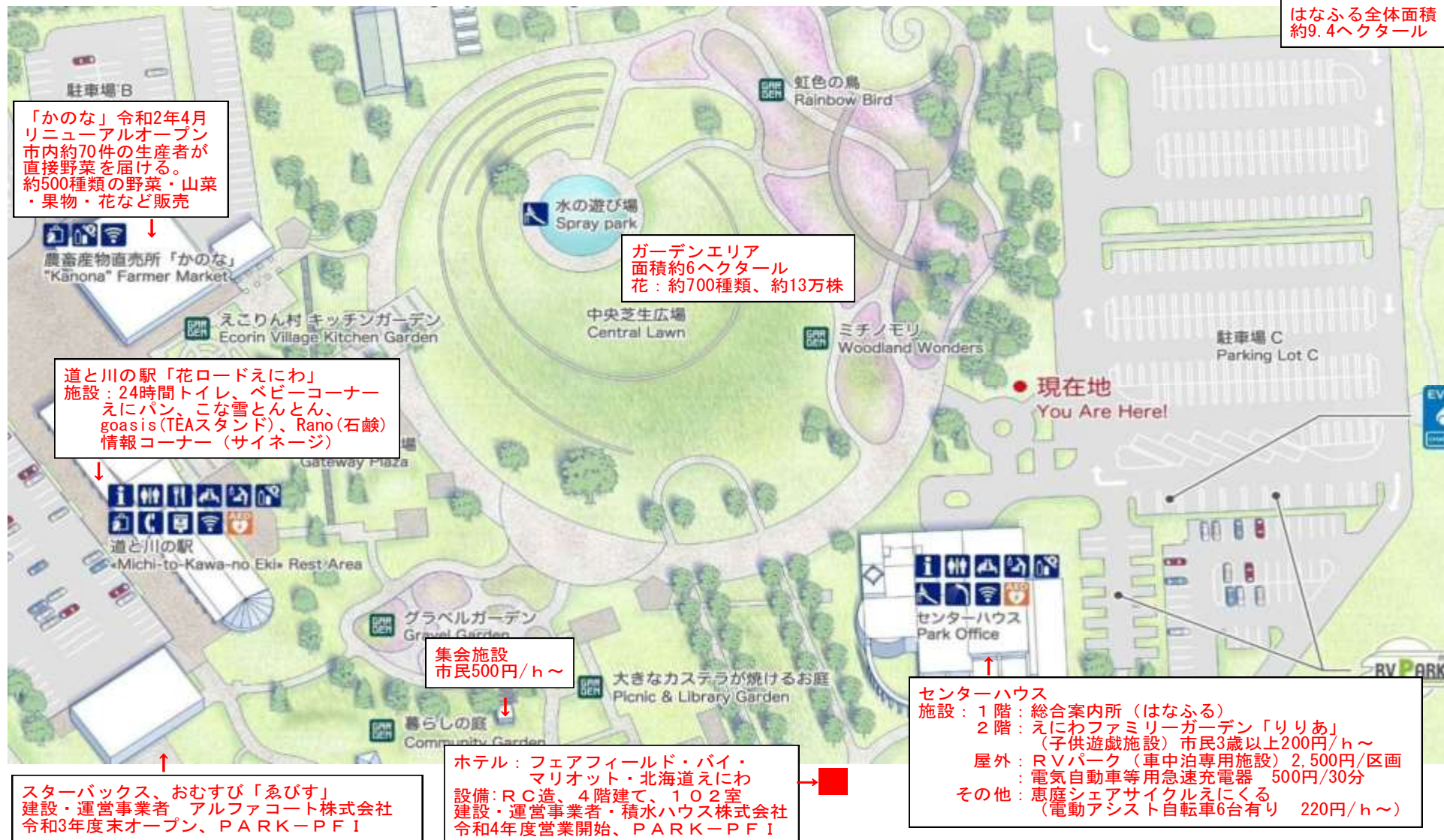


お庭の学校の様子(大きなカステラが用意された)





花の拠点（はなふる）の概要



センターハウス



RVパーク

(車中泊専用施設: 2,500円/区画、
電気自動車等急速充電器500円/30分)



えにわファミリーガーデン「りりあ」

センターハウス2F子供遊戯施設
(市民3歳以上200円/h~)



①スターバックスと②おむすび「ゑびす」 フェアフィールド・バイ・マリオット・北海道えにわ

①R3.12.26オープン、②R4.3.1オープン
建設運営事業者はアルファコート(株)

R4.5.26オープン、RC造4階建、102室、
建設運営事業者は積水ハウス



道と川の駅「花ロードえにわ」

R2年3月オープン、こな雪とんとん、えにパン、goasis(Tea
スタンド)、Rano(石鱈)、サイネージ、24Hトイレ、ベビーコーナー



農畜産物直売所「かのな」

R2年4月オープン、市内約70件の生産者が野菜を届ける
約500種類の野菜・山菜・果物・花等)



第39回 全国都市緑化北海道フェア ガーデンフェスタ 北海道2022

- ・ 昭和58年以降毎年、全国持ち回りで開催
- ・ 花と緑に関する国内最大級のイベント
- ・ 36年ぶり2回目の道内開催

<近年の状況>



開催年度	開催地	時期	開催日程	期間
2021年度 (令和3年度)	熊本市	春	R4.3.19-5.22	65日間
2023年度 (令和5年度)	仙台市	春~夏	R5.4.26-6.18	54日間

恵庭で開催

2022年
(令和4年) 6月25日▶7月24日



メイン会場

恵庭市花の拠点「はなふる」会場図





アーカイブプロムナード

恵庭の花のまちづくりの歴史を展示するパネル

北海道立公園の紹介

企業等による都市緑化推進の取組を紹介





大花壇・市民参加花壇

色とりどりの花で来場者をおもてなしする花壇。かわまちエリアは、市民参加による植栽

漁川河川敷には、幼児等が植え付けした「たねダンゴ花壇」を造成





企業団体・高校生出展庭園

造園建設業の造園技術を駆使した庭園や花と緑を用いた企業PR花壇等を展示（35作品）

全国造園デザインコンクール高校生部門の優秀デザイン作品を展示

企業団体等庭園はコンテストを行い優秀作品を表彰



ハンギングバスケット・コンテナガーデン

市民や道内外の愛好家が作成した作品を展示

ハンギングバスケット 50作品

コンテナガーデン 40作品

コンテストを行い優秀作品を表彰



ステージイベント

ガーデンエリアの中央にステージを設置
学校、幼稚園、文化団体等、市内外で活動している個人・団体による演奏やパフォーマンス
効果的な会場への来場促進や賑わい創出のための集客イベントなど
集客を多く見込まれる土・日・祝日が中心



自治体等出展

自治体出展花壇：道内外の政令市や県から13の庭園を出展いただき、各地のPR

市町村コンテナ：道内の市町村や恵庭市の姉妹都市・友好都市から10の出展



営業等出店

道と川の駅からはなふるへの向かう園路及び、
休憩エリア（駐車場）、ピクニックガーデン
（平日5店舗～休日20店舗）

道産食材の使用や北海道フェアオリジナルの物
販・飲食のほか、花緑関連や北海道・恵庭市の
特産品をPR

全国都市緑化祭

全国都市緑化フェア開催期間中の中心的行事として開催。
例年、皇室の御臨席を賜る。

- 式典（主催者挨拶、おことば、出展庭園コンテスト国土交通大臣表彰、緑の社会貢献賞表彰、緑化宣言等）
- 記念植樹 ほか

2022年7月13日記念植樹の様子



令和4年7月24日ガーデンフェスタ北海道2022無事閉幕
目標の30万人を上回る34万人の方々が恵庭に来場致しました！



第34回恵庭花とくらし展 ～ガーデンフェスタ恵庭2023～

令和5年6月24日～7月2日の9日間のロングラン開催。
例年、2日間のところ、緑化フェア1周年記念として開催。
オープニングセレモニー、ステージイベント、市民花壇、
オープンガーデンバスツアー、はなふるガイドツアー ほか

9日間で7万人以上の来場！！



「恵庭市花とみどりの記念日」 制定記念イベント

目的

毎年7月13日を「恵庭市花とみどりの記念日」として、花のまちづくりを繋いでくれた先人たちの偉業に改めて感謝するとともに、恵庭の花と緑のまちづくりを次世代や未来へつなげていくための日として、制定初年度となる令和5年度に記念イベントを開催し、恵庭の花のまちづくりの歴史を振り返り、今後の花のまちづくりを考えていく機会等の提供を行うもの

各記念イベント

- ・ 恵庭市花と緑の記念日 記念植樹
- ・ 花やみどり豊かなまちづくりのための包括連携協定
恵庭市×公益財団法人 都市緑化機構
- ・ 恵庭市花と緑の記念日 制定セレモニー・コンサート

記念植樹

- ・ 全行都市緑化祭の開催日の令和4年7月13日に植樹したエゾヤマザクラを令和5年7月13日に植樹（3本）
- ・ 植樹者： 恵庭市長 恵庭市議会議長 都市緑化機構
恵庭花苗生産組合 恵庭花のまちづくり推進会議
恵庭市花いっぱい文化協会 恵庭一万本桜植樹市民の会

令和5年7月13日記念植樹の様子



花やみどり豊かなまちづくりのための 包括連携協定

公益財団法人都市緑化機構と恵庭市による都市緑化の推進や花や緑のまちづくりのため、相互に協力することを目的。

- ・ 花や緑に係る情報交換やモデル事業などの情報提供
- ・ 普及啓発事業での連携

令和5年7月13日 協定式の様子



恵庭市花と緑の記念日 制定セレモニー・コンサート

- ・ 記念日制定セレモニー、小学生による記念日制定宣言
- ・ シンガーソングライター半崎美子さんによるミニコンサート

セレモニーの様子



小学生記念日制定宣言



恵庭市の今後の花のまちづくりについて

- ・ 緑化フェアを契機に全国的に「花のまちえにわ」の知名度UP
→北海道の花観光は「まず、はなふるで」7つのガーデン堪能
- ・ 花の拠点「はなふる」を中心に道内の庭園などを巡るガーデン
ツーリズムや花観光

